

救急医療から地域へとつなげる自殺未遂者支援のフォローアップ研修



自殺未遂者への対応や関係機関連携でお困りになられたことはありませんか？

救急現場で…地域支援の中で…医療従事者や地域の援助職として、日々懸命なケアや対応に尽力していても、頻回に自傷行為や自殺企図を繰り返す自殺未遂者やそのご家族に出会うことは少なくないと思います。

本研修は、一般救急現場における自殺未遂者等への対応をはじめとする精神科救急の初期対応から継続的な地域ケアまでを、自殺対策のための戦略研究・ACTION-J 研究が開発した「自殺企図の再発防止のためのアサーティブ・ケース・マネジメント」の概念をもとに学んでいただくとともに、モデル症例によるワークショップを通じて、他職種・他機関連携のあり方をそれぞれの立場で実践的に修得していただく内容です。

是非、各機関から医師、看護師、精神保健福祉士、心理士等の精神保健従事者のご参加をお待ちしております。

研修プログラムの内容

講義：「自殺未遂者施策とエビデンスに基づく
自殺未遂者ケアの実際」

グループワーク：

モデル症例を通した自殺のリスク因子と
自殺リスクアセスメントの対応方略、地域連携
の方法について



講 師

札幌医科大学医学部神経医学講座

主任教授：河西 千秋 氏

准教授：田所 重紀 氏

他、同大学附属病院精神科で自殺未遂者ケアに従事している専門職の皆さん



* 本研修は、厚生労働省事業の自殺未遂者等支援拠点医療機関整備事業の一環として、北海道公立大学札幌医科大学法人附属病院と高知県立精神保健福祉センターの共催で実施予定です。

日時：令和4年11月5日(土) 9:30～12:30 (9:00～受付)

会場：高知城ホール 2階 大会議室

住所：高知市丸ノ内2-1-10 (電車「グランド通り駅」より徒歩10分、バス「高知県庁前」より徒歩6分)

※保健衛生総合庁舎の駐車場をご使用いただけますが、数に限りがあります。

できるだけ公共交通機関をご利用ください。

定員

50名 (参加費無料)

定員を超えた場合は人数の調整をさせていただきます。

対 象

- ① 県域全体における自殺未遂者支援に関わりのある救急病院および精神科医療機関に従事する医師、看護師、コメディカルスタッフ等
- ② 県福祉保健所、市町村自殺対策担当者等

申込方法

裏面の参加申込用紙もしくはメールにてお申し込みください。

FAX:088-822-6058 ※送付票は不要です。番号をお間違えないよう、FAXしてください。

メールアドレス：060303@ken.pref.kochi.lg.jp *件名に「11月5日研修申込」と記載下さい。

TEL:088-821-4966

FAX:088-822-6058

参加申込用紙

（締切り10/21）

※申込み多数の場合、参加人数の調整をさせていただくことがあります。

ふりがな 氏 名	ご所属	職 種	備 考
※以下に複数名の記入可能です。			
代表者 （連絡先）	電 話		
	メール アドレス		
自殺未遂者 支援に関する 疑問・質問			

注意事項：①新型コロナウイルス感染症の状況により、中止または内容を変更する場合があります。

②当日、37.5℃以上の発熱やその他風邪症状等の症状がある方は、参加をお断りさせていただきます。

③会場内での主催者以外の撮影や録音はご遠慮ください。主催者側は、個人が特定されない配慮の上、研修会等の記録用として使用させていただく場合があります。

<講師紹介> 河西 千秋 氏 （札幌医科大学医学部神経精神医学講座 主任教授）

精神科医。横浜市立大学院卒。横浜市立大学附属病院、神奈川県下の精神科病院、カリフォルニア大学サンディエゴ校、カロリンスカ研究所等の勤務を経て、2005年より横浜市立大学医学部精神医学教室で准教授、2012年に同大学病院医学部健康増進科学の教授。2015年により現職にある。

広く精神科臨床、薬物効果・副作用の研究に従事する傍ら、1992年より産業精神保健業務、学生メンタルヘルス支援活動に従事。2002年からは自殺対策活動に取り組み、精神科救急、医療従事者・医系学生の自殺予防教育、自殺対策のための地域介入活動に従事し、省庁・地方公共団体・職能団体・学術団体等の自殺対策を支援している。自殺対策のための戦略研究 ACTION-J 研究により、自殺未遂者の自殺再企図防止方略を開発し、最近、その介入プログラムがそのまま診療報酬項目となり、「世界初の自殺予防医療の社会実装化」が注目された。

臨床・地域精神保健・教育・産業分野等等の様々な現場でシームレスに活動を展開している先生です！